

今までこんな取組をしてきたよ!



給食の献立を提案 (H24)



名張の新名物を提案
「かたやきソフト」(H30)



子どもたちの考えた名張の魅力
詰め込んだ「なばりん」。小学生が考えたデ
ザインを大学生が仕上げたんだって! (R1)



「「なばりん」をもっと知っ
てほしい」と、避難場所
や観光情報などが取得で
きるQRコード入りの看
板「まちかどガイドなば
りん」を作ったよ (R3)



新しいメンバーを募集中だよ!

開催日 6月から3月の土・日曜日(全8回程度)
対象 市内の小中学校に通う児童・生徒 40人程度
場所 武道交流館いきいき(蔵持町里)など
申込 5月27日迄までに、住所・氏名・電話番
号・学校名・学年を記入の上、ファクス(64-
6318)か電子メール(m_ogita@nabari-pta.
net)でMIK運動推進委員会事務局へ



市内小中学生が主役!

「ばりっ子会議」

☎ 子ども家庭室 ☎ 63-7594

「名張市子ども条例」制定から16年。子どもの「参加する権利」を保障する「ばりっ子会議」は、子どもたち自らが開催し、子どもたちの「思い」を発信しています。



「ばりっ子会議」を
紹介するよ!



令和3年度は、コロナ禍の中、4回の「ばりっ子会議」が開催されました。会議で話し合われた「子どもだけでなく、市民の皆さんが安心して安全な名張で暮らすために交通マナーを高めたい」という意見を市政への提言書としてまとめました。提言書と共に、「なばりん」を使ったポスターやチラシも作成し、市長へ手渡しました。「交通マナーを守る名張にしていきたいため市民の皆さんに広めてください」と提言書を読み上げた会議メンバーの大園千愛さんと遠藤果歩さん。ポスターやチラシは、市内の小中学校や市民センターなどに配布され、交通安全の啓発に役立てられています。



いっぺん、真剣に名張の未来のこと考えよう!

SDGs ワークショップ ナバリミライ

～持続可能な名張の未来をデザインしよう～

「住みたい名張」「住み続けられる名張」にするためにはどうしたらいいのか、SDGsの目標の中から社会・環境・経済の3つのテーマについて、参加者みんな
で考え、名張の未来を創造するワークショップです。

Part 1 SDGs de 地方創生カードゲーム / 6月18日(土) 午前9時～正午

SDGsの17の目標を達成するために、現在から2030年までの道のりをゲーム
で体験。楽しみながらSDGsの本質を理解することができます。今回のテーマである「社会・環境・経済」を充実させながら、暮らしよい名張を目指すゲームです。

Part 2 ワークショップ「社会」 / 6月18日(土) 午後1時30分～4時30分

テーマ「誰もが生きやすいまち 名張を考える」～「誰も」の中にはアナタも含まれています～
話題提供/多文化共生センター、人権・男女共同参画推進室

Part 3 ワークショップ「環境」 / 6月25日(土) 午後1時30分～4時30分

テーマA「人・社会・地球にやさしく生きる」～ムダをなくして賢く暮らそう～
話題提供/イーナバリ株式会社、学校給食関係者、市民相談室
テーマB「最新のテクノロジーの追求と自然との共生」～地元企業に学ぶ～
話題提供/オキツモ株式会社、環境対策室

Part 4 ワークショップ「経済」 / 7月9日(土) 午後1時30分～4時30分

テーマA「働き方って一つじゃないよ」～地域で働く、地域資源を活かして働く～
話題提供/一般社団法人滝川YORAI、地域おこし協力隊、地域経営室
テーマB「必要とされ続ける企業とは」～人間らしい働き方と企業の持続可能な経済成長の両立～
話題提供/名張近鉄ガス株式会社、商工経済室

◎関心のある回だけの参加も可能です。



今年で3回目の
人気講座です!

声 普段の活動への
考え方・見方が変わる

声 SDGsの取組は
他人事でないと感じた

声 SDGsを仕事に
も取り入れられそう

SDGsって??

「将来にわたって、すべての人が豊かで、幸せであり続けていく」ため、自然環境の汚染や経済格差など解決すべき多くの課題があります。その課題を乗り越えていくために、国連で採択された17の目標で、2030年の実現を目指しています。

場所 教育センター(百合が丘西5)
進行 米山 哲司さん(NPO法人
Mブリッジ代表理事)

定員 32人 ※参加無料。先着順
申込 電子メール、電話、ファクスで、名前・
連絡先・参加希望日時・所属団体(あれば)
を問合せ先へ

☎ 市民活動支援センター
☎ 63-5325 FAX 63-5326
✉ j-kouryu@emachi-nabari.jp

参加者
募集中